

事業所名		児童発達支援　ドキドキキッズ				支援プログラム		作成日		2025　年		6　月		1　日	
法人（事業所）理念		様々な経験を通して豊かな感性をはぐくみ、明るく元気にだれからも愛される子どもに育つように、保護者や地域社会と連携を図り成長を見守ります。													
支援方針		1．家庭的で温かい雰囲気の中で、一人一人の個性を大切にしながら、様々な経験を通し、社会性を育む 2．人とのきずなや関りを大切にしながら思いやりの心を育む													
営業時間		8　時		30　分から		17　時		30　分まで		送迎実施の有無		あり		なし	
		支　援　内　容													
本人支援	健康・生活	基本的な生活リズムを身につけられるように支援をする。 うがいや手洗いなどの大切さも伝え、健康で安全に日々を過ごせるように手助けする。 清潔にすることの心地よさを感じながら、衣服の着脱や身の周りのことも少しずつ自分でできるように支援を行う。													
	運動・感覚	日常生活で必要となる動作の姿勢保持や、運動・動作の習得、筋力の維持や強化を図る。 視覚や聴覚、触覚など様々な感覚を養えるように遊びを通して支援を行いながら、一人一人の特性を踏まえて、感覚の偏りに対しては、環境の調整を行う。													
	認知・行動	五感を通して必要な情報を収集しやすいように工夫し認知機能の発達を促すことができるように支援する。 多い、少ない、大きい、小さいなど理解しやすいように興味のある物を使い、その概念形成を促す。													
	言語 コミュニケーション	言葉や文字、指さしなどで相手の意図を理解したり、自分の考えを伝え、コミュニケーションの楽しさを感じられるよう支援する。 絵カードなどを用いて様々なことへの理解と意思の伝達ができるように支援を行い、体系的な言語の習得を目指す													
	人間関係 社会性	身近な人との安心、安定した関係の中で、信頼関係を築けるように支援を行い、社会性や対人関係の基礎をつくっていけるようにする。 遊びを通して、ルールを守ることや気持ちや情動の調整ができるように支援をし、集団生活に参加できるように支援する。													
家族支援		保育士や児童支援員、心理士など様々な職種の職員がおり、何でも相談できるような環境づくりに取り組んでいる。個別面談の機会も多く持ちながら、お子様の成長とともに喜びながら見守る。保護者同士の交流も持てるような時間と場所づくりを行っている。						移行支援		就学に備えて、就学先の教育機関と情報共有を行いスムーズな受け入れが行えるように連携に努める。地域の小学生との交流の機会を多く持ち、就学先で多くの児童とのコミュニケーションが図れるような学びの機会を設ける。					
地域支援・地域連携		系列の保育園の子どもたちや学童の子どもたち、地域の皆様との交流などを通して心身ともにすこやかな成長を見守る。						職員の質の向上		各マニュアルの内容をより深く理解するために、園内職員研修を行っている。また保育現場で起こったヒヤリハット報告をもとに自己の発生の防止に努めている。外部研修についても保育安全研修など、毎年積極的に参加している。					
主な行事等		お花見ピクニック　七夕まつり　ハロウィンパーティ　クリスマスパーティ　保護者交流会　いもほり　果物狩り													